

出会おう！

北海道足寄高等学校

学校通信

初夏の躍動

公式ウェブサイト

<http://www.ashoro.hokkaido-c.ed.jp/>

高体連

十勝支部予選



バスケットボール部

5月26日(木) サンドームおとふけ
帯広北 129-35 敗

バレーボール部

5月26日(木) 帯広市総合体育館
帯広農業 2-0 敗

バドミントン部

5月26日(木)、27日(金)
芽室町総合体育館

【男子シングルス】

雪田 本別 0-2 勝
帯広三条 2-0 敗

【女子シングルス】

川崎 帯広柏葉 2-0 敗
山下 芽室 2-0 敗

【男子ダブルス】

小西・中原 池田 3-0 敗

【女子ダブルス】

小原・佐藤 帯広工業 0-2 勝
帯広柏葉 2-0 敗

【男子団体】

(佐々木、雪田、小西、西村、中原)

鹿追 1-3 敗

【女子団体】

(小原、川崎、佐藤明、山下、久保田)

帯広緑陽 0-3 敗

卓球部

5月26日(木)~28日(土)
札幌スポーツセンター

【男子団体】

(小倉、菅原、佐藤瑠、佐藤蓮、坂口)

本別 2-3 勝

帯広工業 1-3 敗

【女子団体】

(長谷川、斉藤、吉田、村岡)

帯広柏葉 0-3 敗

【男子ダブルス】

佐藤瑠・佐藤蓮

池田 0-3 勝

帯広工業 0-3 勝

帯広大谷 3-1 敗

坂口・小倉

帯広緑陽 0-3 勝

池田 0-3 勝

帯広柏葉 3-2 敗

櫻井・高橋

上士幌 0-3 敗

菅原・森山

帯広緑陽 3-1 敗

【女子ダブルス】

吉田・村岡

帯広三条 3-0 敗

長谷川・斉藤

帯広三条 3-0 敗

【男子シングルス】

佐藤蓮

帯広農業 0-3 勝

音更 1-3 勝

帯広大谷 3-1 敗

坂口

帯広農業 0-3 勝

帯広工業 3-2 敗

小倉

帯広三条 1-3 勝

帯広三条 3-0 敗

櫻井

芽室 0-3 勝

幕別清陵 3-1 敗

高橋

帯広三条 1-3 勝

帯広工業 3-0 敗

佐藤瑠

音更 3-2 敗

長野

帯広工業 3-0 敗

森山

帯広工業 3-2 敗

菅原

帯広工業 1-3 敗

佐藤聡

帯広三条 3-0 敗

【女子シングルス】

吉田

芽室 0-3 勝

帯広大谷 3-1 敗

長谷川

広尾 0-3 勝

帯広南商 3-0 敗

斉藤

帯広柏葉 3-1 敗

村岡

帯広南商 3-1 敗

弓道部

5月26日(木)~28日(土)

帯広の森弓道場

【男子団体】優勝 全道大会進出

【女子団体】4位

【男子個人】瀧本 優勝

田口 6位

【男子個人戦】

瀧本7中 全道大会進出

田口5中 入賞

吉田1中 石田0中 佐野2中

谷徹1中 谷駿4中 羽根田2中

【女子個人戦】

久保田4中 小尾2中 渡邊3中 新沼

4中 森田2中 藁谷0中

佐藤0中 白澤0中 辻1中 堤1中

陸上部

5月19(木)、20(金)、21(土)

帯広の森陸上競技場

多田 奏音 1500m 5分07秒89

西川 結 400m 1分16秒75

やり投 22m59

森田 大翔 100m 12.32

200m 25.74

櫻井 夏樹 100m 11.79、11.90

宮本 隆心 110mH 16.28、16.12

決勝2位 全道大会進出

新津 咲羅 走幅跳 4m52 決勝6位

走高跳 1m40 決勝5位

全道大会進出

大野 乃愛 やり投 15m74

佐藤 碧 400m 54.35、54.86、

54.35 決勝8位

佐々木 凜 100m 15.14、14.72

走幅跳 4m08 決勝8位

澤田 綺 走幅跳 2m22

青木 大悟 200m 27.63

走幅跳 4m12

尾野 匠 200m 29.38

走幅跳 3m81

鈴木 怜 100m 12.59

走幅跳 5m24

男子リレー 鈴木、櫻井、森田、宮本

100m×4 46.67

男子リレー 佐藤、森田、多田、宮本

400m×4 3分43秒77

女子リレー 澤田、大野、佐々木、西川

澤田、新津、大野、西川

100m×4 57.48(予選)

56.84(決勝) 決勝7位

教育実習



5月9日から3～4週間、本校を卒業した2人の大学生が、教育職員免許状を取得のための教育実習に訪れました。長野さん(札幌国際大・足寄中出身)と青木さん(北海道教育大・足寄中出身)にお話をうかがいました。

Q1：足寄高校時代の自分と、授業で担当した現在の足寄高校生を比較して、何か感じましたか？



現在の足寄高校生は勉強の取り組み方が違うな、と感じました。先生の話をしっかり聞こうとする態度や、手帳で毎日自分の

スケジュール管理をして、意識が高いと思いました。(長野先生)



真っ直ぐで優しい、人との関わりを大切にしている生徒が多かったと思います。今も、周りを見て行動できる生徒が多いように

感じました。(青木先生)

Q2：教員の一人として眺めた足寄高校に何か感じたことは？

▶高校生の時に母校で教員としてまた戻ってくることは考えていませんでしたので、不思議な気持ちです。(長野先生)

▶授業をするのがとても楽しい、そう思える雰囲気でした。教員として、生徒と真摯に向き合った分だけ、生徒は応えてくれると感じました。(青木先生)

Q3：実習の手応えはありましたか？

▶実習前は、本当に50分の授業がやりきれぬのかとても不安でした。反省点はたくさんありますが、生徒の皆さまから学べたことや楽しかったことなどの感想をもらい、授業ができたという実感が得られました。先生方のご指導のおかげで、大学の中では学べないことを経験することができました。(長野先生)

▶先生方や生徒の皆さんの支えがあり、学びの多い充実した4週間でした。「教える」ことを深く考える期間となり、教員になりたいという思いが強くなりました。(青木先生)

Q4：地域の方々へのメッセージを

▶足寄町に支えられてここまでできました。感謝とともに誇りを感じながら過ごして行きたいと思います。(長野先生)

▶高校生の時に町や地域の方の支えで、とても充実した高校生活を送ることができましたが、それはどこでも当たり前のことではないとあらためて思っています。残りの大学生活を充実した時間にできるよう努め、社会人となった時に、町や地域の皆さんに恩返しできるよう、頑張ります。(青木先生)

5月25日に来校された、長野さんの大学の指導教官は、本校卒業生→元教諭→元校長で札幌国際大学スポーツ人間学部スポーツ指導学科教授の林 満章 先生でした。お話をうかがいました。

長野君は私が足寄高校在職時の生徒でもありました。大学で対面したとき、私も驚きましたが長野君本人が一番「びっくり」したことと思います。不思議な縁です。大学生になっても繋がっています。

今から41年前の昭和56年6月、私も足寄高校で3週間教育実習を経験しました。その経験は今でも忘れる事はありません。体育教師に憧れ、剣道部顧問・監督を目指しての実習でした。母校での教育実習(保健体育科)は、その後の教員生

活へのエネルギーとなりました。昭和57年4月、母校での新採用、そして、平成28年4月、校長として採用となり、25年振りに母校に着任し2年間お世話になりました。その後、令和2年3月末をもって38年間勤めた公立高等学校を定年退職し、現在は札幌国際大学で勤務しています。



この先も元気で頑張っていけます。「愛を育て力を合やす」「真理を育て文化を開く」「心を育て礼を守る」(足高校歌より抜粋)益々のご発展ご活躍を祈念します。足高生頑張れ！

交通安全講話



避難訓練



薬物乱用防止講話



打ち上げ花火のお知らせ

7月9日(土)19:45～第64回観岳祭(学校祭)で打ち上げ花火を行います。
※感染症対策と安全確保のため、本校敷地内や周辺での観覧はできません。